

復興計画「不断の見直しを」

検討会議が県に提言書

金沢大や北陸学院大の教授、医師などをつくる「県創造的復興プラン検討会議」は31日、県が策定した「創造的復興プラン」の見直しを馳浩知事に求める提言書を県に提出した。

提言書は9項目で構成。報道各社のアンケートで、能登に帰りたいと答えた被災者が多いことを踏まえ、プランの具体化に向けて被災者の思いに基づく「不断の見直しを求め、見直し作業への住民参加の保障、まずは復旧を重視し、国の成長戦略とは切り離して被災者の「人間の復興」を考えることなどを盛り込んだ。

検討会議のメンバーが31日、県庁を訪れ、井上英夫代表（金沢大名誉教授）が県創造的復興推進課の担当者に提言書を手渡した。井上代表は「被災された方たち

県の担当者等に提言書を手渡す井上英夫代表（県庁で）



の声が反映されていないと感じる。能登に住み続けられる権利をどう保障するかを一緒に考えてほしい」と呼びかけた。（広田和也）

県復興プラン 知事に提言書

有志グループ
読売240801

県が6月に策定した能登半島地震の「県創造的復興プラン」について、学識経験者ら有志でつくるグループが31日、馳知事への提言書を県に提出した。

提言では、被災者がどこでどのように生活するかを自分で決められるように、復興の前提となる復旧を重視して進めるべきだと指摘した。中心となった金沢大の井上英夫名誉教授は「住民の声や願いの実現が何よりも大事だ」と話している。

◆創造的復興プランへ提言

学者や医師、ソーシャルワーカーらでつくる県創造的復興プラン検討会議代表の井上英夫、大名誉教授は31日、県庁を訪れ、馳浩知事宛ての同プランへの提言書を提出した。被災住民の思いに基づき不断の見直しを行うことや、創造的復興の前に復旧を重視することなどを求めている。

県庁で会見した井上氏は、同プランには「住み続ける権利」を保障する視点が欠けていると指摘した。

毎日新聞

北陸

福井・石川・富山

肉の

HACCPシステム
本社:

「住民の声反映を」提言

学識経験者ら 石川県復興プランに

能登半島地震の復興を進める石川県創造的復興プランについて、学識経験者らで作る同プラン検討会議（代表・井上英夫金沢大名誉教授）が31日、同県に提言書を提出した。「能登の復興のためにはそこに暮らす被災者一人一人の復興が実現されねばならない」と指摘。被災者らの主体的な参加により、その声を反

映させた復興プランの具体化が進むよう望んだ。

「被災者・地域住民がどこに、誰と、どのように住むのかを自己決定し、自分らしく生き、自己の願い・希望を実現することを人権として保障する」という視点から、9項目を提言。創造的復興の前に復旧を重視すること▽被災状況の分析・検証

国指定史蹟天然記念物
りゅうがどう
龍河洞
財団法人 龍河洞保存会
高知県香美市土佐山田町
☎0887-53-2144
買戻コース開放中 ※要電話予約

社会保険施策の復旧・復興の道筋をプランの中核に据えること――

なども盛り込んだ。提出後、記者会見した井上代表は「被災された方や地域住民の皆さんが何を願い、何を實現してほしいと思っ

ているのが生かされていない。プランを作る以上は、その声や願いを實現することが大事だ」と訴えた。

【深尾昭寛】

地震影響6割「あった」

北陸3県企業 BCP見直しが必要

富山、石川、福井の北陸地方3県に拠点を持つ企業のうち63・2％が能登半島地震による経営への影響が「あった」と答えたことがこのほど、北陸経済連合会のアンケートで分かった。自社や取引先、従業員が被災し、対応に迫られたとみられる。今後の必要な防災対策として、多くの企業が事業継続計画（BCP）の見直しを挙げた。アンケートは4月に